

Step 4 個別の学習活動の設定

個別の学習活動を設定します。学習活動はStep 2で記入した【学んだことを生かしている姿】【場・人・もの】と、Step 3で調整・見直しをした【各教科の目標及び内容】（育成を目指す資質・能力）を参考に考えます。「場・人」を授業の場面設定に、「もの」を教材・教具につなげることもできます。そうすることで、【各教科の目標及び内容】（育成を目指す資質・能力）と児童生徒の生活を結び付ける学習活動とすることができます。


Step 4 個別の学習活動の設定

 個別の【学習活動】を記入しましょう。




Step 3 で記入。

Step 2 で記入。

氏名	【各教科の目標及び内容】 （育成を目指す資質・能力）	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
A 	・職業・家庭（家庭分野）C消費生活・環境ア（ア） （中学部1段階） ・国語A聞くこと・話すことエ （小学部2段階）	・目的に応じた店で、家族（支援者）と買物する。 ・商品やお釣の受け渡しができる。 ・店員と簡単なやり取りをする。 ・エコバックを持参して買物に行く。	場：目的に応じた店 人：店員、家族、支援者、友達 もの：紙幣・硬貨、財布、かご、レシート、エコバック

※【学んだことを生かしている姿】【各教科の目標及び内容】を参考に【学習活動】を考えます。

氏名	【学習活動】（指導内容・方法）
A 	・教師と一緒に買物の一連の流れを、別教室に設置した仮想店舗でシミュレーションする。 ・本物の紙幣や硬貨の受け渡しをする。 ・「これください」「お願いします」「ありがとうございます」等、店員との簡単な受け答えの練習をする。 ・購入した商品をエコバックに入れる。

（実際に授業で扱う【場・人・もの】例）

	Aさんの生活の【場・人・もの】	授業での場面設定、教材・教具
「場」	目的に応じた店	別教室に設置した仮想店舗
「人」	店員、家族、支援者	店員役の教師、支援する教師
「もの」	エコバック	エコバック